

戦略的プロジェクト研究推進事業

「国際連携による農業分野における温室効果ガス削減技術の開発」

研究概要図

中課題番号	18065179
中課題名	農産廃棄物を有効活用したGHG削減技術に関する影響評価手法の開発
研究実施期間	平成30年度～平成34年度（5年間）
代表機関	国立研究開発法人国際農林水産業研究センター （熱帯・島嶼研究拠点）
研究開発責任者	安藤 象太郎
研究開発責任者 連絡先	TEL : 0980-83-9111
共同研究機関	国立大学法人東北大学工学研究科
普及・実用化 支援組織	国際再生エネルギー機関 タイ農業局コンケン畑作物研究センター
農林水産省内 本事業担当	農林水産技術会議事務局国際研究官室 代表 : 03-3502-8111（内線5902）

研究課題名 農産廃棄物を有効活用したGHG削減技術に関する影響評価手法の開発

[代表機関] 国際農林水産業研究センター
(国際農研)



参画機関
連携

小課題1
国際再生可能エネルギー
機関 (IRENA) と連携

小課題2
タイ農業局コ
ンケン畑作物
研究センター
と連携

小課題3
東北大学
工学研究科
(共同研究
機関)

アウト
プット

バイオエネルギー生産技
術が社会・経済・環境的
資源に与える影響の評価
手法の開発

農作物の品種開発による
農産廃棄物の成分と量の
変化の解明

地域(圃場-加工工場-
農産廃棄物の変換利用)
でのGHG削減効果評価
手法の開発

全体の
アウト
プット

アジアの開発途上地域において、対象地域に適応可能でGHG排出削減効果が大きい、原料とバイオエネルギー生産技術の組み合わせが明らかになる。

アウト
カム

農産廃棄物を有効利用したバイオエネルギー生産技術の導入が進み、開発途上国におけるGHG排出削減に貢献する。